

女性部、2/17に県教委と話し合い

高知県教組女性部では、2月17日に県教育委員会と話し合いを行いました。組合側の参加者は、執行部を中心に10名。県教委側は、教職員・福利課の課長補佐、高等学校課・小中学校など6名。2月号でお知らせした「女性教職員の権利と保護に関するアンケート」に寄せられた声を伝え、県教委施策の改善・充実などを求めました。その概要を、「ハラスメント防止」と「妊娠・出産」の2点に絞ってお知らせします。



25年度 第12号
通巻1822号

発行所：
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



女性部では、これまで現場教職員の声を集め、要求実現に向けて運動を継続してまいります。ご協力をお願いします。

県教委 ～ハラスメント根絶に向けての取組～

- 教育センター主催の管理職研修や、市町村立小中学校長、あるいは県立学校長に対して啓発研修を実施。今年度は管理職対象の動画も追加。
- 「ハラスメント対策ガイドブック」を全教職員への周知と各種相談窓口の一覧表やチラシを学校内での掲示や回覧による周知を促す通知済。
- 「教職員不祥事根絶ポータルサイト」に各種相談窓口を掲載。
- 「信頼される学校づくりのために」の冊子をR6改訂し、事例や相談窓口も掲載。
- 県立学校にアンケートを実施し、結果をフィードバック。
- 若年教職員を中心に学校訪問による相談対応(R6～)を行っている。

県教委 ～妊娠出産に向けての取組～

- 産休代替教職員の確保に最大限の努力しているが臨時教員数が減少していて、年度途中における代替教員の確保が極めて困難な状況が続いている。
- 未配置の解消に向け、市町村教育委員会とも連携して、退職教員等への働きかけ、新たな講師の掘り起こし、常時勤務が難しい方には、時間講師としての任用をしている。新聞やラジオ、テレビで募集、教員免許を有しながら教職に就いていない方を対象としたペーパーティーチャー個別相談会の開催、SNS等を活用した県内外への発信、本県の教員採用審査を受審した他県出身者への呼びかけ、高知大学の学生を対象にした臨時講師の説明会、医学部の養護教諭コースを履修している学生を対象とした就職説明会にも参加して人材確保に努めている。
- 産前産後休暇(国の加配要件は、5/1～7/31)、国への加配要望を行っている。高知県は独自に4月から対象にしている。

参加者

- アンケートから、①「出会うのが早ければ結婚できていた」と言われた②胸を見られた③若い人(女性)だけ誘う、などの性的なハラスメントが多くあがっていた。④病休を年休に変えさせる⑤代休の日取るように強要する⑥申請させない⑦能力批判⑧長時間のトイレ掃除というパワハラもあがっている。
- ◆アンケートのハラスメントに関わる項目が横這いで変わりがない。動画研修があるが、学校現場のものでないし、加害者は指導のつもりで気づいていない。また、相談窓口相談をと言われても、簡単にできるものではない。もっと弱い立場に立った研修にしてほしい。つらい思いをした、いやな思いをしフラッシュバックや辞職する場合もあることに視点をあてた研修内容に。

参加者

- アンケートから「知っている権利」については、妊娠者と妊娠者ではない人とも似通っている。「出生サポート休暇」については、知られていない現状がある。
- ◆県教委のHPで調べても、妊娠・出産に関わる制度や休暇についてなかなかたどり着かないので、改善してほしい。
- ◆産育休は、手前にわかっていることなので安心して休めるように代替の確保をお願いしたい。当人は妊娠をマイナスに考え、現場も苦勞(負担増)している。
- ◆先読みは5/1～7/31の要件だが、8月以降に延ばせられないか。
- 出生サポート休暇が5日では厳しい。8日、10日に延ばしてほしい。

担任加算が新設。でもその結果、現場の忙しさは改善されませんでしたか。働きがいには上がりませんが▼年度初め頃の投書の言葉がよぎります。「なぜ毎年少しずつ忙しくなるのでしょうか。なぜかやる事が増え、なぜか確認することが増え、なぜか会議が増えてきています」「日々の職務は働き方改革とはほど遠く、残業の嵐。勤務時間内に終わらせるのは到底無理な仕事量と闘いながら退職の機をうかがっています」▼もっと人を増やして！もっと子どもと向き合える時間を作って！もっと教材研究や事務処理ができる時間を保障して！代替は必ず配置を！▼そんな叫びに応えられる組合運動が出来たのか。県教委への要求や、県民への世論化等はどうだったのか▼反省しきり！だからこそ26年度、一緒に頑張ろう！(和)

お城下

25年度末を目前に振り返り▼年度内の制度変更で、教職調整額が4%から5%に。また、学級

第181回県教組中央委員会開催

高知県教組では、2月7日(土)に、第181回中央委員会を行いました。25年度の運動の中間総括をするとともに、26年春闘期の運動方針を確立する会議です。県内各教組の代表(中央委員)が集まり、現場の状況などを出し合いながら、これからのとりくみについて意見交換をし、方針を決定しました。

この中央委員会は、会議の役員(議事運営委員、議長、書記)を選んだ後、細木久義委員長のあいさつから始まりました。二人の来賓のあいさつの後、植野慎司書記長等の提案がありました。それを受けて、参加した中央委員の発言で、議案を

深め合いました。以下、その発言のいくつかの要旨を紹介いたします。

*【一】は教組の略称です。また、発言者はイニシャルにしました。同じイニシャルが出てきても、同じ人の発言というわけではありません。

【高教組・Tさん】

高教組(県立高校・障害児学校の組織)では、1週間前に中央委員会を行い、特別アピールを採択した。戦争できる国への危険性が高まっており、憲法を守る政治を求めようという趣旨だった。先生の中には「学校の先生

【高知市・Hさん】

学校の中で、体育主任という責任ある仕事を初めて行う人が、不安を抱いていた。そこで、教職員賠償責任共済の話をして、総合共済と一緒に加入してもらった。その人が、他の未加入の人にも広げてくれた。学校現場の中で、つながり続けることが大事だと感じた。

【高教組・Nさん】

つながりを作ろうというところで、中土佐町へのバスツアーを企画した。美術館や酒蔵を訪問。未組合員も3名参加してくれて、交流が深まった。現場が忙しいだけに、非日常でのリ

【高知市・Yさん】

フレッシュユが大事。26年度に、自分の勤務する小学校で、チーム担任制が導入される計画になっている。中学校の体育免許の人が加配され、3学級の学年で、その人を含めて4人で全クラスを担当。最初の1ヶ月は固定だが、5月からは、中学校体育免許の人も含めて4人で2週間交替でクラス担任を変わっていくということと説明された。約百人の4クラスの子どもたちを4人で担任するということ。子どもたちは、どの先生に相談しても良いといわれるらしいけれど、毎日、その日の出来事を報告・共有し合わない、子どもたちの事がつかめない。負担が増えるのではと危惧している。

【高教組・Iさん】

高校入試で、「こうちフロンティア募集」が行われた。県外の生徒も受審。しかし、よく内容(高校の学

【高岡・Hさん】

科など)を調べずに、応募してきた子どももいた。県外からの生徒も不合格になった子どももいる。在校生に聞くと、「早くから進路を決められる」「学力試験がないので楽」「しかし、入学後困るのではないか」など、この制度の問題点を指摘した。県教委は、子どもたちの実態が分かっているのではないかと。【高岡・Nさん】養護教員部で、二ヶ月に1回「おしゃべり保健室」を行っている。参加者には、未組合員も多くなっている。「いろいろな話を聞いて、参加してスッキリした」という感想が述べられている。

【高岡・Hさん】

毎年12月に中部教育事務所と交渉を行っている。今回は、所長

【高知市・Hさん】

が交代して初めての回。「現場の困り感に伴走したい」とあいさつをしてくれた。自分たちは、管理職による勤務時間の改竄が行われており、事務所から注意して欲しいことや、ハラスメントの具体例を管理職に説明して防止の徹底を希望すること、年次研の負担軽減を更に考えてほしいことなどを伝えた。

【高知市・Hさん】

青年部ではいろいろなことに取り組んでいる。福島ツアーを企画して、8月に行ってきた。9月にはその報告会も行った。AI活用の学習会も2月に行った。2月最初の全国青年教職員学習交流会TAN Eにも参加してきた。未組合員も参加し、輪を広げている。【安芸・Jさん】学校で、若い教員と一緒に研究会を



高知県教組第181回中央委員会開催の様子



高知市・Hさんの発言の様子

作り、平和学習を進めている。そこで自分たちが学びながら、それを基に子どもたちがビキニ被ばく船員の聞き取りを行ったり、その結果を発表したりしている。三学期にも、戦跡巡りや映画『ビキニの海は忘れない』上映会なども計画している。

【高岡・Hさん】須崎港が特定利用港湾に指定されたが、これは米軍との共同行動のためであり、戦争を継続するためのものだ。「須崎港の軍事化に反対する会」として、映画『戦雲』の上映会を行ったり、会員拡大に取り組んだりしている。

これらの発言後、採決を行い、賛成多数で議案を決定しました。この方針に基づき、今の学校現場を少しでも働きやすい場所にしていくために、共同の輪を広げながら、高知県教組は運動していく決意を固めました。

癒やしのアクセサリー作り 2/11、女性部の取組に15名参加



忙しいに追われ、女性部で集まることすら難しくなってきたからこそ、「みんなで集まると楽しいことをしよう!」と女性部執行部でアクセサリー作りの企画を考えました。全ての郡市高教組・専門部からの参加とまではいきませんが、退婦教の先輩たちにも参加してもらい、総勢15名でした。みんなのための助け合い・全教共済の勉強を行ってからの、天然石の素敵なア

クセサリー「シトリンの女神ネックレス」の制作に励みました。講師は、天然石アクセサリー講座を開かれて、森尚美さん。「日頃の忙しいから少し離れて、リフレッシュしてほしい、先生ではなく、女性、いや少女に戻って楽しんでほしい」と私たちの心をそっと癒してくれました。いざ始まってみると、細かな作業に悪戦苦闘!老眼鏡や拡大鏡がちゃんと準備されている意味がよく分かりました。そんなこんなで、ちょっと高齢化しつつある(?)女性部の催しは、予定時間(1時間)



を大幅に超えて、何とか写真(上)のよう美しいネックレスを完成させました。おしゃれな物作りはやっばり楽しくて、夢中で取り組んだことは久しぶりで、完成したものを手に、みんな笑顔の記念撮影(写真・左)。

シトリンの天然石は、太陽のような明るい色が特徴であり、宝石言葉は「繁栄、成功、富、希望」。

ポジティブなエネルギーをもたらす石のようです。今後の女性部の活動を活気づかせるためにぴったりの意味を持つアクセサリーになったのではないのでしょうか。このような形のみんな楽しんで企画や学習会をまた計画したいと思っています。その時には、みなさんぜひご参加下さい。多くの方の参加を待っています。(追伸 作業をしながらのおしゃべりも本当に楽しいですよ。)

**総合共済 月額600円
加入キャンペーン
実施中!**

詳細は高知県教組HPで

4/15までにご加入の方には、3000円のQ.U.Oカードをプレゼント中。

*いろいろな給付あり

*月々600円の貯金に!

★高知県教組までメールを!

採用審査で教職教養を受審しなければならない方、ぜひおいで下さい。



明日を拓く連続講座

日時 4月17日(金)、5月1日(金)
ともに午後7時から

★両日とも同じ内容です。

どちらかにご参加下さい。

場所 高知城ホール2F(高知市丸ノ内)

内容 教職教養(高知県)の傾向と対策

参加費 500円

*事前の申し込みはありません。当日、会場にお越し下さい。

*専門教養の過去問もご提供します。

教職員のための自動車保険は

全教自動車保険

教職員と家族を守って36年

WEBでかんたん見積依頼

右のQRコードから見積り依頼を⇒

高知県内の四国88カ所霊場巡り⑫

1	2	3	4	5	6
7					
8				9	
10			11		
12		13			
		14			

【タテのカギ】

1. 柔道の技の一つ。重心がかかっている片足を内側から払って相手を仰向けに倒す技。
2. これ生ものだから〇〇〇〇〇で、都会の我が子に送ろうと。
3. 遠方の島や土地に追いやる刑罰
4. くつつきワードた〇〇、よ〇〇ベリ、〇〇と
5. 読める? 「調う」
6. 公団住宅などの浴室に用いられた、ガス式の給湯器。浴槽の横に設置。
11. 大学等で、ある先生について親しく教える受ける生徒。〇〇〇生

【ヨコのカギ】

1. 卒業式の定番ソングの一つ。♪暮れなずむ街の、
7. 管弦楽団
8. 春の息吹を伝える山菜の一つ。別名・オオバギボウシ
9. 韓国語はアニヨ、ドイツ語はナイン、フランス語は〇〇
10. 幼い子を親しみを込めて指す言葉「ウチの〇〇が」
11. 言う・語る等の謙譲語
12. これがたくさんあると、利子もた
13. 他との境をなしているところ。
14. 潮岬は何県? かぎを解いて二重枠に入る4文字で、高知県内にある四国88カ所霊場のお寺の名前(〇〇寺、解答には寺をつけてね)を作って下さい。①解答②郵便番号・住所③氏名(匿名希望の方はペンネーム可、ただし本名は忘れずにお書きください)④職場名⑤職場の話題か教育通信の感想、を書いてメールまたは葉書で送って下さい。締切は4月28日(火)。3名の方に図書カードを進呈。⑤は紙上で紹介させていただきます。

【1月号の当選者】

「竹林(ちくりん)寺」(第31番、高知市五台山)でした。抽選の結果、次の3



ご好評いただいた「なっちゃん」の4コマですが、残念ながら、今号で終了となります。長い間、ありがとうございました。感謝申し上げます。

【みなさんの声より】

名の方が当選されました。おめでとございます。 鯉のたたきが一番さん (大月小) ウチャヤさん (別府小) ケロチヤンさん (野市中)

○お遍路さんをしていたので、88カ所の名前、すぐ出てきました。しばらくクロスワード、楽しみです。(ごめんなさい。88カ所シリーズは今号で終了です。高知県に關わる新たなシリーズを考えていますので、どうぞ4月号からもお楽しみ下さい。)

○マンパワーが欲しいです! 新しく決まり、制度が変わって知らせも届くけど、どれも現場の: : 普通の日常からかけ離れていて、苦しいです。

「一ヶ月、完全複式の学級を持つてみてよ」です。そんな中でも、特支の子と先生が、ゆずジュースの素を作ってくれて、(職員室に) 下りてこられる時にいただいています。ありがとうございます! ゆっくりおしゃべりできる時間も欲しいです。

○第1820号(今年の1月号)の「赤ペンをお願いしたところ: :」のお話し(「予算が逼迫しているのでも、個人で欲しいものは自分で買ってほしいと言われた」という内容の投書)には、閉口しました。

○いよいよ3学期が始まりました。小中学校は人が少ない状況は相変わらずです。何とかならないの? ○ちやうど三学期から産休に入りました。(1月号の記事の内容) 内容が出産制度についてなのでみなさんの意見、参考になりました。時短勤務の制度はあるみたいなのですが、使う人を見たことがありません。担任をもつと時

短勤務は無理な気がします。 ○後1年で還暦。20代の頃は60歳なんてすぐお年寄りのイメージだったけど、いざ目の前にくるとあんまり自覚がありません。でもきつと20代の先生たちや子どもたちから見れば、お年寄りなんだろうなあ。

○今年度最後の参観日に、4年生教室では、「10歳を祝う会」と題したセレモニーが開催されました。誕生からこれまでの成長の足跡を辿り、ちよつぱり照れながら、歌や手紙で育ててくれた両親に感謝の想いを伝え、親子で手紙の交換も。終了後には集合写真に加え、にこやかに親子のショットも撮影。改めて子ども達の成長を実感した、幸せ溢れるひとときでした。

メールはこちら

